

「動画検索エンジンにおけるランキング・アルゴリズムの開発」

～ より効率的な動画検索の実現 ～

1. 背景

現在、インターネット上の動画共有サイトが日本だけで利用者が 1000 万人を超えるほど爆発的に広まった一方で、複数の動画共有サイトを横断的に検索するサービスは黎明期である。

動画市場の爆発的な拡大により、検索ワードと関連する動画をただ検索結果画面に並べるだけでは、ユーザーがそれほど観たいとは思わない動画を大量に表示することに成りかねず、優れたランキング・アルゴリズムの重要性は高まるばかりである。

2. 目的

本プロジェクトは、優れたランキング・アルゴリズムを開発し、動画検索エンジン Fo0000 の検索結果の表示順位精度を向上させることで、利用者を大幅に増加させることを目的とし、利用者の増加に伴って増加する検索連動型広告の広告料により、Fo0000 の事業化を目指すものである。

3. 開発の内容

本システムは以下のように構成される(図 1 を参照)

～ Fo0000 クロールサーバ～

・動画共有サイトやブログをクロールし、動画情報及び動画の引用状況の情報を収集

～ Fo0000 データ処理サーバ～

・動画の重要性やキーワード関連性の評価処理を行なう

～ Fo0000 DB サーバ～

・検索エンジン用のインデックスを作成する

・Web サーバから送られた検索クエリに応じて、検索結果を返す

～ Fo0000 Web サーバ～

・ユーザーから送られた検索クエリに応じて、DB サーバへ検索クエリを送る

・DB サーバから返された検索結果を HTML に加工してユーザーへ表示する

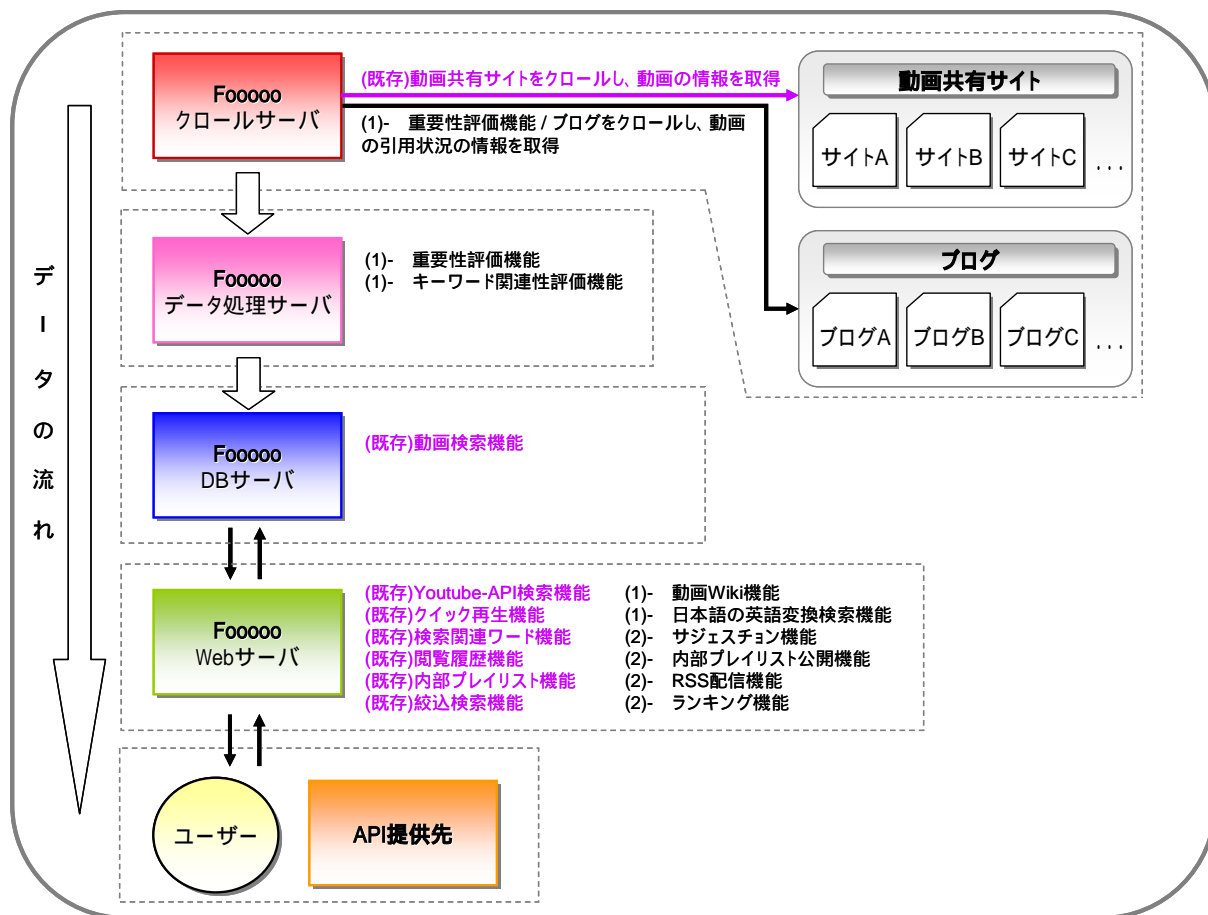


図 1 システム全体のイメージ

4. 従来の技術(または機能)との相違

動画の重要性評価の基準に、投稿日や平均値からの乖離度合を加えることにより、従来の技術では埋もれやすかった高品質の動画が検索されやすくなった。また、スパム動画がアルゴリズムによって排除されることで、動画検索の効率がより高くなった。

5. 期待される効果

動画検索の効率が上がることによって検索に浪費される時間が少なくなり、その結果ユーザーがより多くの時間を動画の閲覧に費やすことができるようになった。そのことにより、Web 動画市場の更なる拡大が促進されると予測される。

6. 普及(または活用)の見通し

2008 年中に月間 1 億ページビューが達成されると予測される。

7. 開発者名(所属)

樋口 智裕 (株式会社バンク・オブ・イノベーション)

富島 寛 (株式会社バンク・オブ・イノベーション)

田中 大介 (株式会社バンク・オブ・イノベーション)

(参考)動画検索エンジン Fooooo

<http://www.fooooo.com/>